

教育学部 ディプロマ・ポリシー

教育学部は「幅広い教養と教育（保育）とりわけ学校教育に関して総合的な理解を持ち、教育を深く探究して学校教育をめぐる諸課題の解決に向け適切な方策を考えることができ、確かな教育実践に必要な高い技能と豊かなコミュニケーション能力を身につけ、教育（保育）という営みや教師（保育士）という仕事に深い関心を持って主体的に探究し続けることができる人材」を育成する。

【対課題】

〔専門分野に関する知識〕

1. 教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を修得している。
2. 学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を修得している。
3. 子ども理解のために必要な心理・発達論の基礎知識を修得している。
4. 学級経営や授業構成のために必要な基礎理論・知識を修得している。

〔人類の文化・社会・自然に関する知識〕

1. 将来教員として担当する教科等について専門的な知識を修得している。
2. 地球、国家、人間等に関して理解するための基礎的な教養を修得している。
3. 社会の変化に適応するための幅広い知識、技術を修得している。

〔論理的思考力〕

1. 客観的に物事を捉え、子どもの立場に立った授業構成を考えることができる。
2. 社会における教育のありかたについて、適切な情報の収集と分析を行うことができる。

〔課題探求力〕

1. 教科書にある題材や単元、目的等に応じた教材・資料を開発・作成することができる。
2. 自己の実践的指導力をめぐる課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を修得している。

〔語学・情報に関するリテラシー〕

1. 情報機器の活用に係る基礎理論・知識を修得している。
2. コンピュータサイエンス・AIに関心を持つとともに、これらを適切に理解し、教育に関わる情報の整理と分析を行うことができる。
3. 社会の国際化にあわせ、外国語でコミュニケーションをとることができる。

【対人】

〔表現力〕

1. 板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を修得している。
2. 学校に関わる様々な人を知り、これらの人や場に応じた表現の技術を修得している。

〔コミュニケーション力〕

1. 子どもたちの発達段階を考慮して適切に接することができる。
2. 他者の意見やアドバイスに耳を傾け、確かな教育実践に必要とされるコミュニケーション能力を修得している。
3. 学校に関わる様々な人を想定し、多様な人とコミュニケーションをとろうとする態度を修得している。

〔協働実践力〕

1. 保護者や地域との連携協力の重要性を理解している。
2. 他者と協働して課題に取り組み、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんとこなしたりすることができる。

【対自己】

〔自律力〕

1. 挨拶・言葉遣い・服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項を身につけている。
2. 自らの置かれた状況を理解し、学び続けようとする態度を持っている。

〔倫理観〕

1. 子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができる。
2. 教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解している。

【統合・働きかけ】

〔統合・働きかけ〕

1. これまで修得した知識と技能を教育活動のなかで活かすとともに、自己課題の克服のために探究し続けることができる。